

鶴岡市日本遺産推進協議会 設立総会 議事要旨

日 時：令和 7 年 4 月 1 7 日（木）13:45～14:25

場 所：鶴岡アートファーム 2 階大会議室

出席者：別紙のとおり

概要については、以下のとおりです。

1 開会

2 議事

（1）鶴岡市日本遺産推進協議会規約（案）について

○事務局より、規約及び役員・事務局等について説明

〔質疑応答〕なし 〔採決〕承認

○規約に基づき、会長に皆川治鶴岡市長を選出

○会長あいさつ（皆川治鶴岡市長）

- ・本協議会は、本市が誇る 3 つの日本遺産の歴史や文化、構成文化財を保存継承していくとともに、それらを活かした交流拡大による地域の活性化を進めることを目的としている。これまで、それぞれのストーリー毎に推進組織を設け、保存と活用に取り組んできたが、本協議会の設立を契機に 3 つの日本遺産をより一体として捉えることで、活用の幅がさらに広がっていくもの考える。
- ・地域の歴史的な魅力や特色を通して、日本の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定する日本遺産制度は、今年が制度創設 10 周年の節目の年となる。本協議会が、新たな推進母体となり、関係者とこれまで以上に連携を密にとり、より多くの方々を巻き込みながら地域一体となって日本遺産事業を推し進めていきたい。

○皆川会長より役員を指名、委嘱（別紙のとおり）

（2）鶴岡「サムライゆかりのシルク推進協議会及び鶴岡市北前船日本遺産推進協議会からの寄附の受納について

○事務局より、本協議会の設立に合わせて解散する両協議会からの寄附の受納について説明

〔質疑応答〕なし 〔採決〕承認

（3）令和 7 年度事業計画（案）及び令和 7 年度収支予算（案）について

○事務局より、令和 7 年度に取り組む事業と収支予算案について説明

〔質疑応答〕

主な質疑

発言者	内容
酒井忠順 公益財団法人致道博物館 代表理事 館長	観光入込客数の目標値が現状値＋35 万人に対して、日本遺産関連施設への入込客数の目標値が現状値＋10 万人は少ないので、もう少し目標値を上げて良いのではないか。
事務局	今後の事業の中で、現状の目標値を見直していきたい。
秋葉雄 一般社団法人北前船 交流拡大機構 参事	構成文化財ではないが、重要な観光資源である加茂水族館を活用しながら、日本遺産を連携させていく必要がある。
事務局	この会議の中で、活用方法についても議論していきたい。
奥山弥寿之 鶴岡市金融協会	3 つの日本遺産を 1 つのストーリーとして捉えられていない。それぞれの関わりを調べていき、1 つのストーリーが出来上がる。
阿部知弘 DEGAM 鶴岡ツーリズム ビューロー常務理事 /商工観光部観光推進監	3 つの日本遺産それぞれにストーリーがあり、歴史的や文化的な背景がある。事業計画の「企業研修等誘致」の事業において、教育旅行向けに作成した「まなぶつるおか」をブラッシュアップした企業研修向けのマップやモデルコースを作成していきたい。

〔採決〕 承認

3 その他 特になし

4 閉会